学級活動　《第２学年》年間指導計画

担当（　小作　）

特別活動　目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

〔学級活動　目標〕

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成し，役割を分担して協力して実践したり，学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに，自主的，実践的に取り組むことを通して，特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

〔生徒会活動〕

異年齢の生徒同士で協力し，学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて，計画を立て役割を分担し，協力して運営することに自主的，実践的に取り組むことを通して，特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

〔学校行事〕

全校又は学年の生徒で協力し，よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養いながら，特別活動の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

月	議題名・題材名	ね　ら　い	活 動 内 容	指導・助言、資料
4	中学２年生としての自覚をもつ 学年目標、学級目標 個人目標 自己紹介 学級組織作り	新たな気持ちで意欲的に取り組む態度を身に付ける。 何事にも集中して真剣に取り組む。 集団の中で自分の役割を理解する。	作文「中学２年生になって」 学年目標、学級目標を決める。 個人の学習・生活目標をたてる。 自己紹介、班編成、生活班目標、給食・清掃など当番活動の確認 委員会・教科係など組織作りをする。	失敗を恐れず､前向きに取り組む姿勢や態度を育てる。 互いを知ろうとする雰囲気をつくり、新しい学級、新しい仲間と建設的な行動ができるようにコミュニケーションを図る。
	学校生活のきまり 授業に対する姿勢と学習習慣の定着 安全指導	学校生活の決まりを再確認する。 自分にあう学習方法を模索する。 非常時の安全確保について理解する。	学年全体で、生活のきまりについて確認し合うことで共通理解を深める。 一つ一つの授業を大切に取り組む。 避難経路と行動の仕方を確認する	具体的な事例をあげながら考える。 自分の課題を見つめ、毎日の家庭学習の習慣を定着させる。 真剣な気持ちや態度で行なうよう助言する。
5	生徒総会議案書討議 体育祭にむけて 中間考査にむけて	生徒会活動へ積極的に参加する意識を持つ。 体育祭に向けて意識をもつ。各競技や練習の取り組み、係の仕事について理解し、集団の中での役割を意識し、協力体制を確立する 学習計画、実行について振り返る。	議案書を基に意見や質問を出し、クラスの意見をまとめる。 スローガンへの意見をだしあう。実行委員を中心にし、練習予定や学年種目、係の仕事について確認し合う。 学習について計画と実行を記入させ、各自振り返りを行う。	進行は学級委員・各委員によって行う 実行委員を中心に年 全 体 の 意識を高める。 各個人の取り組みを通して、学級・学年・学校としてのまとまりをつくる。 今後の学習に生かすよう助言し、学習意欲を高める。

6	体育祭を振り返って 期末考査にむけて	集団生活を有意義に送ろうとする意識をもつ。 これまでの学習をふりかえり、学習計画を見直す。	作文「体育祭を終えて」 考査にむけた学習の進め方	自己の取り組みとともに協力できたか考えさせる。 自分に合った学習方法を確立し、継続できるよう指導する。
7	１学期の反省 （個人・クラス・学年） 職場体験学習	個人およびクラスの１学期の生活について振り替える。 働くことの大切さ、大変さ、楽しさを味わう。	個人目標やクラス目標をもとに１学期の反省をする。 学級委員が中心となってクラス全体の反省を行い、反省をまとめて学年集会で発表し合う。 自分が担当した事業所で責任をもって、最後まで体験させていただく。	各自振り返り、１学期の反省をさせ、２学期に繋げる。 「体験させていただく」という謙虚な気持ちで臨むよう助言する。
8	職場体験学習での感謝の気持ちを「貢献」できるもの（形）にする。 上級学校訪問	自らの進路について、具体的に考える姿勢を養う。 上級学校について、自らの進路に対する興味関心を高める。	お世話になった職場体験先への感謝の気持ちを夏季休業中に形にする。 自ら興味関心のある上級学校を選び、説明会や授業体験などに参加し、レポートにまとめる。	それぞれの職場体験先の特性に合わせて「貢献」できるようなものは何か共に考え、助言する。 上級学校主催の説明会･体験授業など情報を提供する。訪問時のマナーや見学のポイントを指導する。
9	夏休みをふりかえって ２学期の抱負 合唱コンクール分担決め 職場体験学習のまとめ 校外学習	夏休みの生活を振り返り、目標をもって２学期をスタートする。 集団の中での自分の役割を意識する。 職場体験のまとめを行う。 校外学習の見学地を班ごとに計画を決め、互いに発表し合う。	夏休みのしおりを完成する ２学期の目標を記入し、掲示する。 指揮者、パートリーダー等決める。 体験先へ形にしたものと冊子等を持参し、感謝の気持ちを伝える。（お礼） 班ごとに地理や歴史について学習する。 班長を中心にルートや交通費等、行程について確認し合う。事前学習を発表し合う	新たな気持ちで新学期を迎えられるようにする。 生徒たちが主体的、対話的に協力し合えるよう、助言する。 最後まで失礼のないよう指導する。 見学地に関する情報を適宜提供する。生徒達が主体的に話し合い、より良い計画になるように助言する。
10	後期の学級組織づくり 合唱コンクールにむけて	集団の中での各自の役割を意識する。 集団の団結力を高める。	後期委員会・教科係・学級の係決め 合唱練習の工夫、合唱について意見を出しながら実行委員を中心に、主体的に活動を考えて取り組む。	人間関係を配慮しながら、組織作りをする。 お互いが関わり合って、練習していく雰囲気を作るよう、助言する。
11	クラスの問題点 期末考査にむけて	クラスの長所・短所を検討し、より有意義な生活を送れるようにする。 これまでの学習を振り返り、より充実した学習を考えさせる。	クラスの長所・短所をあげ、どのような対策ができるのかを話し合う。 これまでの学習の進め方を見直し、自分にあった計画をたてる。	学習・生活両面から考えさせる。 仲間の学習方法の工夫点などを具体的に紹介させる。

12	期末考査の反省 ２学期の反省 （個人・クラス・学年）	これまでの学習姿勢を検討し、冬休みを含めた学習計画を考える。 個人及びクラスの２学期の生活について振りかえる。	これまでの学習を見直し、今後の計画を立てる。 個人目標やクラス目標をもとに２学期の反省をする。学級委員を中心に各クラスの反省をまとめて発表する。	先の見通しをもてるように助言する。 ２学期の反省をし、しっかりと３学期に繋げる。
1	冬休みをふりかえって３学期の抱負 スキー移動教室に向けて	冬休みの生活を振り返り、３学期がスタートできるようにする。 活動のあり方、規律を学ぶ。	冬休みのしおりを完成する。 ３学期の目標を記入し、掲示する。 適切な行動計画を立案する。	新たな気持ちで新学期を迎えられるように助言する。 みんなが楽しいと思える集団生活について考えさせる。
2	スキー移動教室を振り返って 学年末考査にむけて	活動のあり方、規律を学ぶ。 １年間のまとめとして、より充実した学習を考える。	行動計画を見直し、改善点を見つける。 自分の学習課題を見つける。	公衆マナーや集団のルールを守ることの大切さを指導する。 計画の立て方を工夫させる。
3	卒業式にむけて ３学期の反省 （個人・クラス・学年）	上級生の取り組みから、杉森中をどのようにより良くするための方策を考え最上級生になる自覚をもつ。 個人およびクラスの３学期の生活について振りかえる。	卒業生にむけてのメッセージや、最上級生となるために自分に何が必要かを考える。 個人目標やクラス目標をもとに３学期の反省を行う。	丁寧に心を込めてメッセージを書かせる。 ３学期の反省をさせ、１年間のまとめをさせる。